

るが、フランスのシャンパーニュ地方で生産されたスパークリングワインのみが「シャンパン」を名乗ることができる。PDOとPGIの違いは、前者が地域との結びつきが強いのにに対し、後者は比較的緩やかな結びつきであることである。シャンパンはPDOの一例である。日本では、EUに続いて地理的表示保護制度を導入し、日本GIマークを制定している。日本で最も有名なGIのひとつが「夕張メロン」である。

商標と地理的表示には違いがある。特に前者は商標権者が他者の使用を妨げることができるのに対し、後者の侵害への対処は行政に任されている。

様々な種類のマークについて学ぶことで、知的財産権についてよりよく理解することができるだろう。

【ポスター原稿の訳】

知的財産権の世界

これらのマークは何か

® TM SM ©  

これらのマークは全て  権利に関する。

マークの種類

マーク	付すもの	説明
®	登録商標	®のついた商標は法律で保護されるが制度は国により異なる。
TM		<input type="text" value="44"/>
SM	<input type="text" value="45"/>	
©		

共通の特徴を持つマーク

- 
- 

【語句・表現】

- intellectual property 「知的財産」
- 〈第1段落〉
- mark 「～に印をつける」
  - symbol 「記号」

- have something to do with 「～と関係がある」
- intangible 「無形の」
- trademark 「商標」
- refer to 「～を意味する」
- tangible 「有形の」

〈第2段落〉

- register 「～を登録する」

〈第3段落〉

- indicate 「～を示す」
- logo 「ロゴ」
- letter 「文字」
- stand for 「～を表す」
- federal 「連邦の」
- violate 「～を侵害する」
- claim damage 「損害賠償を請求する」
- bear 「～をもつ」

〈第4段落〉

- minus 「～を引いた」
- presence 「存在」

〈第5段落〉

- shorten 「～を短くする」
- whereas 「～である一方」

〈第6段落〉

- copyright 「著作権」
- procedure 「手続き」
- literary 「文学の」
- artistic 「芸術の」
- cover 「～を対象とする」
- range from A to B 「AからBにわたる」
- sculpture 「彫刻」
- technical drawing 「図面」

〈第7段落〉

- agricultural 「農業の」
- exclusive 「独占的な」
- geographical indication 「地理的表示」
- tie 「結びつき」

〈第8段落〉

- notably 「とりわけ」
- up to 「～次第」

# リーディング・第4回 解答と解説

問題番号(配点)	設問	解答番号	正解	配点	自採点	己点
第1問(10)	A	1	<input type="text" value="1"/>	3	2	
		2	<input type="text" value="2"/>	2	2	
	B	1	<input type="text" value="3"/>	4	2	
		2	<input type="text" value="4"/>	2	2	
		3	<input type="text" value="5"/>	1	2	
	自己採点小計					
第2問(15)		1	<input type="text" value="6"/>	4	3	
		2	<input type="text" value="7"/>	3	3	
		3	<input type="text" value="8"/>	2	3	
		4	<input type="text" value="9"/>	3	3	
		5	<input type="text" value="10"/>	1	3	
自己採点小計						
第3問(15)	A	1	<input type="text" value="11"/>	1	3	
		2	<input type="text" value="12"/>	3	3	
	B		<input type="text" value="13"/>	2		
		1	<input type="text" value="14"/>	4	3*1	
			<input type="text" value="15"/>	3		
			<input type="text" value="16"/>	1		
		2	<input type="text" value="17"/>	2	3	
			<input type="text" value="18"/>	2	3	
		3	<input type="text" value="18"/>	2	3	
自己採点小計						

(注)

\*1は、全部正解の場合のみ点を与える。

\*2は、解答の順序は問わない。

問題番号(配点)	設問	解答番号	正解	配点	自採点	己点	
第4問(15)		1	<input type="text" value="19"/>	4	3		
		2	<input type="text" value="20"/>	2	3		
		3	<input type="text" value="21"/>	3	3		
		4	<input type="text" value="22"/>	2	3		
		5	<input type="text" value="23"/>	4	3		
自己採点小計							
第5問(15)		1	<input type="text" value="24"/>	3	2		
	2		<input type="text" value="25"/>	1,5*2	2		
			<input type="text" value="26"/>		2		
	3		<input type="text" value="27"/>	3	3*1		
			<input type="text" value="28"/>	4			
			<input type="text" value="29"/>	2			
			<input type="text" value="30"/>	1			
		4	<input type="text" value="31"/>	4	3		
		5	<input type="text" value="32"/>	4	3		
	自己採点小計						
第6問(30)	A	1	<input type="text" value="33"/>	1	3		
		2	<input type="text" value="34"/>	4	3		
		3	<input type="text" value="35"/>	2	3		
		4	<input type="text" value="36"/>	4	3		
			<input type="text" value="37"/>	2			
	B	5		<input type="text" value="38"/>	1	3*1	
				<input type="text" value="39"/>	5		
				<input type="text" value="40"/>	4		
		1		<input type="text" value="41"/>	1	3	
				<input type="text" value="42"/>	2	3	
2		<input type="text" value="43"/>	2	3			
		<input type="text" value="44"/>	2,4*2	3			
	<input type="text" value="45"/>	3					
自己採点小計							

自己採点合計

第1問

A

出題のねらい

英語で書かれたメッセージを読み、そこから必要な情報を読み取る力をみる。

設問解説

問1 「なぜカミラは彼女の机から離れたのか」

1

- ① ミラに宿題を終えるのを手伝ってくれるように頼むため。
- ② 彼女の友達に新しいスマートフォンを見せるため。
- ③ 彼女のクラスメイトと話をするため。
- ④ 彼女の宿題を提出するため。

正解⇒③

カミラは最初のメッセージで、「彼女のところにおしゃべりしに行ったの」と発言をしているので、③が正解。新しいスマートフォンを持っているのはミラなので、②は誤り。また、カミラは前日の晩に宿題を終わらせていることから、①は誤り。ミラと話している間に宿題が見当たらなくなっていたと述べられていることから、④も不適切。

【語句・表現】

・turn in ~ 「~を提出する」

問2 「あなたはカミラの2番目のメッセージにどのように返信するか」 2

- ① うん、でもあなたは宿題を自分の力でやるべきだったよ。
- ② うん。もう机の中は見つた?
- ③ うん、スミス先生に会いに行こう。
- ④ うん。数学の問題について話し合う必要があるよね。

正解⇒②

Can you help me find it? の答えとなっている選択肢を選ばよ。この疑問文のitが指すのは、その前の文の my notebook のことなので、要するにノートを探すことを手伝って欲しいというのが、このセリフの発言意図である。よって、この頼み事に対するメッセージとして適切なものを選ばよ。したがって②が正解である。ほかの選択肢は、すべて「ノートを探す」ということに対して、全く無関係な返信であり、不適。

【語句・表現】

- ・should have done 「~するべきだった(の)しなかった)」
- ・(all) by oneself 「ひとりで、自分の力で」
- ・look in ~ 「~の中を見る、覗く」
- ・discuss 「~について話す、議論する」

【全訳】

あなたのクラスメイトのカミラがあなたのスマートフォンにメッセージを送ってきました。

最悪な一日だったよ！ 昨日の夜、スミス先生からの数学の宿題をやったのよ。とっても難しく、真夜中まで起きている羽目になったの。それでね、今朝、学校に着いて、そのノートを私の机に置いたら、ミラが自分の席に来てほしいと私に言ったの。だから、彼女のところにおしゃべりしに行ったの。彼女、嬉しそうでね、私に彼女の新しいスマートフォンのことを話したの。それで、少し経って、私が机に戻ったら、私の宿題がどこにもなかったの！

かわいそうに！ きっとあなたは怒られたのよね。スミス先生は、生徒の言い訳を信じるような人じゃないから。

もちろん、そうよ。それで、今までずっと私のノートを探しているのよ。探すのを手伝ってくれない？

【語句・表現】

- ・assignment 「課題、宿題」
- ・stay up 「(寝ないで) 起きている」
- ・chat with ~ 「~とおしゃべりする」
- ・after a while 「しばらくして」
- ・What a pity! 「それはかわいそうに！」
- ・I bet ~ 「きっと~だ」
- ・tell ~ off 「~を叱る」

- ・the last person to do 「最も~しそうでない人物」
- ・excuse 「言い訳」
- ・look for ~ 「~を探す」

B

出題のねらい

ウェブサイトの案内を読み、必要な情報を読み取る力をみる。

設問解説

問1 「博物館のリニューアルの重要な点は、

3 である」

- ① 手ごろな入場料
- ② 京都への移転
- ③ 動物を連れて来られること
- ④ 以前より大きな土産物屋

正解⇒④

変更点の欄に「お土産物屋さんが大きくなります」とあることから、正解は④。入場料の欄に「入場料はリニューアル前と変わりません」とあることから①は誤り。変更点の欄に「博物館は駅の近くに移転します」とあることから②は誤り。注意事項の欄に「館内へのペットの入場はできません」とあることから③は誤り。

【語句・表現】

- ・renewal 「リニューアル」
- ・reasonable 「手ごろな」
- ・admission fee 「入場料」
- ・relocation 「移転」
- ・permission 「許可」
- ・souvenir 「お土産」

問2 「あなたがもし新しい博物館に両親と16歳の妹と行ったら、4 かかる」

- ① 10ドル
- ② 13ドル
- ③ 15ドル
- ④ 18ドル

正解⇒②

入場料の欄から、「大人5ドル、大学生3ドル、18歳以下は無料」ということがわかる。また、問題の導入文に「あなたは大学生」とある。これにより、両親が10ドル、大学生の自分が3ドル、16歳の妹が無料だということがわかるので、正解は②。

問3 「博物館に入るには、 必要がある」

- ① 前もってオンラインで申し込む
- ② 平日には遅くとも午後5時には到着する
- ③ 18歳以上である
- ④ 土日には追加料金を支払う

正解⇒①

注意事項に「博物館に入るには皆さまオンライン予約が必要です」とあることから、正解は①。閉館時間に「閉館の30分前までご入場いただけます」とあることから、平日は午後4時半には到着しなければならないことがわかる。したがって②は不正解。③、④に関する内容は書かれていない。

#### 【語句・表現】

- ・apply「申し込む」
- ・in advance「前もって」
- ・at the latest「遅くとも」
- ・extra「追加の」
- ・fee「料金」

#### 【全訳】

あなたは大学生で博物館のウェブサイトを見ています。その博物館へ行くことを考えています。

### 博物館再開のお知らせ

#### 変更点

- ・お土産物屋さんが大きくなります。幅広い品物を選んでいただけます。
- ・日本の美術や文化のコーナーを開設します。江戸時代の作品を展示する予定です。来年は京都の文化を特集します。
- ・博物館は駅の近くに移転します → アクセスマップ

#### 入場料

大人	5ドル
大学生	3ドル

- ・18歳以下の人は無料です。
- ・入場料はリニューアル前と変わりません。

#### 開館時間

平日	午前9時から午後5時
週末	午前9時から午後7時

閉館の30分前までご入場いただけます。

#### 注意事項

- ・博物館に入るには皆さまオンライン予約が必要です。詳細は[こちら](#)をご確認ください。
- ・館内へのペットの入場はできません。

#### 【語句・表現】

- ・website「ウェブサイト」
- ・announcement「お知らせ」
- ・reopen「再開する」
- ・expand「～を拡張する」
- ・offer「～を提供する」
- ・a wide range of ～「様々な～」
- ・item「品物」
- ・choose from ～「～から選ぶ」
- ・establish「～を開設する」
- ・exhibit「～を展示する」
- ・period「時代」
- ・feature「～を特集する」
- ・relocate「移転する」
- ・access map「アクセスマップ」
- ・adult「大人」
- ・operation「営業」
- ・visitor「訪問者」
- ・admit「～を許可する」
- ・note「注意事項」
- ・booking「予約」
- ・detail「詳細」
- ・allow「～を許可する」

## 第2問

#### 出題のねらい

リーフレットの読み取りを通じて情報を正確に把握する力を問う。

#### 設問解説

問1 「」はそのカフェテリアであることのできる2つのことである」

- ① AとB
- ② BとD
- ③ CとD
- ④ CとE

正解⇒④

学生のコメントの中に「2階に美しいテラスがあります。軽食をとりながら、新鮮な空気を楽しむことができます。そこにある自動販売機で飲み物を買うこともできます」とあることから、Cの「2階の屋外でリフレッシュする」が含まれる選択肢が正解となる。また、「食事をとる」という項目において「カフェテリアカードへのご入金は1階のチャージコーナーで可能です」とあることから、Eの「1階でカフェテリアカードに入金する」は本文の内容と合致し、CとEの選択肢④が正解となる。

Aの「パーティーホールに飲食物を持ち込む」は「パーティーを開く」の項で飲食物の持ち込みが禁止されている言及があるので、Bの「毎週金曜日にランチトークを楽しむ」は「ランチトーク」の項でその開催は毎月第2金曜日とされているので、Dの「日曜日に遅い朝食をとる」は「食事をとる」の項で日曜日には営業を行っていないことがわかるので、それぞれ本文の内容と合致しない。

なおイギリス英語では、日本語で言うところの1階をthe ground floorで表し、2階をthe first floor、3階をthe second floorと表す。

#### 【語句・表現】

- ・cafeteria「カフェ（テリア）、軽食堂」
- ・refreshed「リフレッシュした、気分爽快となった」
- ・the first floor「2階」：イギリス英語。アメリカ英語では「1階」を指す。
- ・add O to ～「Oを～に加える、追加する」
- ・the ground floor「1階」：イギリス英語。

問2 「あなたはカフェテリアの1階におり、パーティーに参加するところである。あなたは する必要がある」

- ① 地下階に降りて行く
- ② 2階に上がって行く
- ③ 3階に上がって行く
- ④ 同じ階に留まる

正解⇒③

「パーティーを開く」の項で「3階のパーティーホールでパーティーを開くことができます」とあることから、カフェテリアの1階からパーティーホールに向かうには、3階に上がればよい。よって、③が正解。

#### 【語句・表現】

- ・attend「～に参加する、出席する」
- ・basement floor「地下階」
- ・the second floor「3階」：イギリス英語。アメリカ英語では「2階」を指す。
- ・same「同じ」

問3 「自動販売機は、 ある」

- ① 地下階に
- ② 2階に
- ③ 1階に
- ④ 3階に

正解⇒②

5つ目の学生からのコメントに「2階に美しいテラスがあります。(中略)そこにある自動販売機で飲み物を買うこともできます」とあることから、自動販売機はカフェテリアの2階(the first floor)にあることがわかる。よって、②が正解。

#### 【語句・表現】

- ・vending machine「自動販売機、自販機」

問4 「あなたがリーデン大学の学生証を持ち、土曜日にランチセット(4ポンド)を注文する場合、あなたはその食事にを支払うことになる」

- ① £3.0

- ② £3.6  
③ £3.8  
④ £4.0

正解⇒③

「食事をとる」の項で、「カードを忘れた場合は、学生割引（平日10パーセント割引、土曜日5パーセント割引）を受けることはできません」という記述から、問題文の条件下では5パーセントの割引を受けることができるとわかる。注文するランチセットの代金（定価）は4£（ポンド）なので、5パーセント割引後に支払う代金は3.8£となり、③が正解となる。

【語句・表現】

- ・order「～を注文する」
- ・set meal「セット（料理）、定食」

問5 「ある学生によって述べられている一つの事実は 10」ということである

- ① ある集団が2か月毎にパーティーホールを使用している  
② ランチトークはとても興味深かった  
③ カフェテリアはいつも混んでいる  
④ 食事は学生にとって少し値段が高い

正解⇒①

3番目の学生からのコメントにおいて「私の学科は同じ場所で2か月毎にティーパーティーを開いています」とあることから、①が正解。

②は4番目の学生からのコメントの内容と合致するが、客観的な事実というよりは主観的な感想（意見）であるため不適。③に関しては、2番目の学生からのコメントに「午前11時半から午後1時半まで、カフェテリアは混んでいます」とあるが、いつも混んでいるという記述は本文中に無いので誤り。④については、「価格も学生に優しいです」という1番目の学生のコメント内容に反することから誤り。

【語句・表現】

- ・fact「事実」
- ・state「～を述べる」
- ・every other month「隔月に、2か月に1度」
- ・crowded「混んでいる」

・meal「食事」

【全訳】

あなたは交換留学プログラムに参加しており、イギリスのとある大学で学んでいます。大学のカフェテリアについての案内をあなたは読んでいます。

<p>リーデン大学カフェテリア 営業時間 午前7時から午後9時まで 2022年学生用案内</p>	
<p>カフェテリアカード：あなたの学生証をカフェテリアカードとしてご利用頂けます。カードに入金することで簡単に食事代を支払うことができます。</p>	
<p><b>食事をとる</b> 朝食、昼食、夕食を月曜日から土曜日まで提供しています。カフェテリアカードへのご入金は1階のチャージコーナーで可能です。カードを忘れた場合は、学生割引（平日10パーセント割引、土曜日5パーセント割引）を受けることはできません。</p> <p><b>パーティーを開く</b> 3階のパーティーホールでパーティーを開くことができます（要予約）。パーティー用の特別なお食事を注文することができますが、ホールに飲食物を持ち込むことはできません。構内での飲酒は禁止されているため、アルコール飲料の提供は致しません。</p> <p><b>ランチトーク</b> 毎月第2金曜日に、パーティーホールまたは2階のテラスでランチトークを開催しています。リーデン大学の研究者の興味深い学術的な話を聞きながら、ランチを楽しむことができます。詳細は、ウェブサイトをご確認ください。</p>	<p><b>学生からのコメント</b> ●カフェテリアの食事は素晴らしいです。価格は学生に優しいです！ ●午前11時半から午後1時半まで、カフェテリアは混んでいます。食事をゆっくり楽しみたいならば、ランチタイムを避けた方が良いでしょう。 ●ホールでパーティーを開くのは素晴らしいです。私の学科は同じ場所で2か月毎にティーパーティーを開いています。 ●ランチトークは期待していた以上に面白かったです。というのも、私の学部では教えていない教授たちの話を楽しんで聞けたからです。 ●2階に美しいテラスがあります。軽食をとりながら、新鮮な空気を楽しむことができます。そこにある自動販売機で飲み物を買うこともできます。</p> <p>*ご不明な点がありましたら、ご遠慮なく地下のご案内窓口にお越し頂くか、またはメールをお送りください (reeden-uni-cafe@zmail.com)。</p>

【語句・表現】

- ・exchange「交換」
- ・programme「プログラム」：イギリス英語のつづり。アメリカ英語では program とつづる。
- ・information「案内、情報」  
〈本文〉
- ・leaflet「リーフレット」
- ・available「利用可能な」
- ・easily「簡単に、容易に」
- ・pay for「～の代金を支払う」
- ・offer「～を提供する」
- ・load「～を入れる、載せる」
- ・top-up「(お金の)チャージ」
- ・discount「割引」
- ・weekday「平日」
- ・reservation「予約」
- ・require「～を必要とする」
- ・alcohol「アルコール」
- ・prohibit「～を禁止する」
- ・campus「キャンパス、構内」
- ・alcoholic「お酒の」
- ・beverage「(水以外の)飲料、飲み物」
- ・terrace「テラス」
- ・whilst S V「～しながら」：イギリス英語では while と同義で whilst を用いることがある。
- ・academic「学術的な、学問の」
- ・researcher「研究者」
- ・detail「詳細」
- ・comment「コメント」
- ・price「値段」
- ・student-friendly「学生に優しい」
- ・avoid「～を避ける」
- ・brilliant「素晴らしい」：イギリス英語で特に用いられる。
- ・department「学科、部署」
- ・every two months「2か月毎に、隔月で」
- ・expect「～を期待する、予期する」
- ・professor「教授」
- ・faculty「学部、能力」
- ・fresh「新鮮な」
- ・snack「軽食」
- ・hesitate to do「～することをためらう」
- ・Information Desk「案内窓口、案内所」
- ・email「～にメールを送る、メールする」

第3問

A

出題のねらい

ブログ記事を読み、そこから必要な情報を読み取る力を見る。

設問解説

問1 「大阪の食について投稿者が言及している側面の一つは、11」ということだ

- ① 多様だ  
② 高価だ  
③ 健康的だ  
④ 油が多い

正解⇒①

第5段落第2文で、大阪の食について「その種類と選択肢の多さは驚くほどであるうえ、外食しても大した額にはならない」と述べていることから、②は誤りで、①が正解。③・④に関することは述べられていない。

【語句・表現】

- ・aspect「側面」
- ・diverse「多様な」
- ・oily「油が多い、油の」

問2 「このブログによると、大阪に関する事実（意見ではない）は 12」ということだ

- ① グリコ像は夜に見るのが一番だ  
② くだおれ太郎はずっと同じ場所にいる  
③ 大阪城は複数回再建されている  
④ 日本のどの都市よりもエスニック料理店が多い

正解⇒③

第2段落第2文で、大阪城が何度も再建されていると述べられていることから、正解は③。グリコ像について、第2段落第5文で「他のカラフルなネオンサインと一緒に明るく輝いている夜に見るのがお勧めだ」と書かれているが、これは「事実」ではなく、投稿者の「意見」だと言える。「くだおれ太郎」については、第3段落第6文以降の記述から、一度撤去されて物置に仕舞われたと

ということがわかるので、②は誤り。第3段落第2文に「様々なレストランが並び、好きなだけ多国籍料理を堪能できる」とあるが、他の都市と比べて多いという記述はないので、④も不適切。

【語句・表現】

- ・ rebuild 「～を建て直す、再建する」
- ・ more than once 「複数回、2度以上」

【全訳】

あなたは韓国からの交換留学生との大阪旅行を計画している。インターネットを検索していると、イギリスからの留学生が書いた、大阪の魅力あふれる観光地を紹介する面白いブログ記事を見つけた。

クリス・アンダーソン  
4月25日(月曜日)午後5:23

大阪は日本の台所として広く知られている。それは、人々が皿洗いに興じているからではなく(そうかもしれないが)、1平方キロメートル当たりの台所用品の数が国内のどこよりも多いからだ。京都には寺院と神社が、大阪には鍋とフライパンがある。

日本の都市はお城があって初めて完成するもので、大阪も例に漏れない。何度も再建され、大阪城は15エーカーもの緑と水に囲まれ、一年じゅう人々に開放されている。市内にはいくつもの歓楽街があり、一番有名なのが難波だ。ここで、有名なグリコ像、大阪で一番有名な目印の一つを見つけられる。他のカラフルなネオンサインと一緒に明るく輝いている夜に見るのがお勧めだ。

しかし、上で述べた通り、大阪といえばやはり食だ。様々なレストランが並び、好きなだけ多国籍料理を堪能できる。有名な食のスポットで、多くの人が吸い寄せられるのが、太鼓叩きの人形「くいだおれ太郎」だ。50年以上にわたって、難波で有名なレストランの外で太鼓を叩き続けている。日本各地から観光客が訪れ、くいだおれ太郎の隣で写真を撮ってもらっている。しかし、ある年、太郎は警備員たちによって撤去され、物置小屋の中に置かれてしまった。人々は太郎がいなくなったことをとても寂しがり、太郎の早期の復活を要求した。その結果、太郎は物置小屋から出てきて、今はかつての居場所のすぐ近

くにいる。以前と同じように、頭を動かして歯を見せながらにっこり笑顔で太鼓を叩いている。

巨大な地下ショッピングモールは別の大阪の人気スポットだ。そこは複雑な構造で知られている。数ヶ月前にちょっとしたものを探し求めて下って行ったが、まだ地上に抜け出せずにいる人がいるという噂もある！

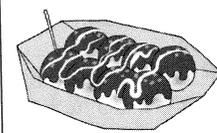
最後になるが、この投稿記事の冒頭で触れているように、大阪は本当に食にまつわるものばかりだ。その種類と選択肢の多さは驚くほどであるうえ、外食しても大した額にはならないのだが、大阪で一つだけ何か試してみるならば、おいしいたこ焼き(ねりこの中に茹でたタコがはいったもの)をぜひ試してほしい。たこ焼きは、多くの人が大阪を連想する食べ物だ。

日本を訪れるのを検討しているのなら、必ず大阪を旅行の計画に含めよう！

これが大阪だ



大阪城  
16世紀の安土桃山時代の  
全国統一において中  
心的役割を果たした。



たこ焼き  
たこ焼きは大阪で古く  
から存在する料理の一  
つ。寿司や天ぷら、ラ  
ーメンなど、他の良く知  
られた日本食のどれよ  
りもおいしいと言う人  
もいる。

【語句・表現】

- ・ exchange student 「交換留学生」
- ・ fascinating 「魅力的な」
- 〈第1段落〉
- ・ cooking utensil 「台所用品」
- ・ per square kilometre 「1平方キロメートル当たり」
- 〈第2段落〉
- ・ complete 「完璧な」
- ・ castle 「城」
- ・ exception 「例外」

- ・ reconstruct 「～を再建する」
- ・ acre 「エーカー」: 面積の単位, 1エーカーは約4047平方メートル。
- ・ greenery 「緑樹」
- ・ entertainment 「娯楽」
- ・ the most popular being Namba 「もっとも有名なのは難波だ」: 意味上の主語がついた分詞構文(独立分詞構文)になっている。
- ・ landmark 「目印」
- ・ brilliantly 「明るく、きらきらと」
- 〈第3段落〉
- ・ previously 「以前に」
- ・ mention 「～に言及する」
- ・ mostly 「大部分は、主に」
- ・ range 「範囲」
- ・ multiethnic 「多国籍の」
- ・ please 「望む」
- ・ attract 「～を惹きつける」
- ・ bang 「～を叩く」
- ・ beside 「～の隣で」
- ・ security staff 「警備員」
- ・ place 「～を置く」
- ・ closet 「物置小屋」
- ・ the public 「人々」: (the + 形容詞)で「～な人々」。
- ・ miss 「～がいなくて寂しく思う」
- ・ demand 「～を要求する」
- ・ immediate 「即座の」
- ・ since 「以来ずっと」
- ・ once again 「もう一度、以前と同じように」
- ・ grin 「(歯が見えるほど)にやりと笑う」
- 〈第4段落〉
- ・ huge 「巨大な」
- ・ underground 「地下の」
- ・ complicated 「複雑な」
- ・ structure 「構造」
- ・ Word gets round that S V 「…という噂が広まる」
- ・ yet to do 「まだ～していない」
- 〈第5段落〉
- ・ post 「投稿記事」
- ・ astonishing 「驚愕の」
- ・ not break the bank 「無一文にならない、大した額にはならない」
- ・ make sure (that) S V 「…ということを確実にする、確かめる」
- ・ tasty 「おいしい」
- ・ boil 「～を茹でる」

- ・ octopus 「タコ」
- ・ batter 「ねりこ」: 牛乳・小麦粉・卵などをこねたもので、ぼたぼた落ちる程度の固さのものを指す。
- ・ associate A with B 「AからBを連想する」
- 〈大阪案内のパンフレット〉
- ・ play a ~ role in... 「…において～な役割を果たす」
- ・ unification 「統一」
- ・ traditional 「伝統的な」

## B

## 出題のねらい

雑誌記事を読み、そこから必要な情報を読み取る力をみる。

## 設問解説

問1 「次の①～④の出来事を起こった順に並べなさい」

13 → 14 → 15 → 16

- ① 筆者はコルカタでの滞在を楽しんだ。
- ② 筆者は現地の学生と知り合った。
- ③ 筆者はニューデリーから他の都市に向けて出発した。
- ④ 筆者はアグラのタージマハルを訪れた。

正解⇒②→④→③→①

筆者はインド旅行の最初の2週間をニューデリーで過ごした(第3段落第1文)。ニューデリー滞在の5日目に現地の大学生であるカビールと知り合った(同第3文)。ニューデリーに滞在中、カビールに協力してもらって、近隣の町を訪れ、ニューデリーを発つ2日前にアグラに行き、タージマハルを見学した(第4段落第1～4文)。その後、ニューデリーからコルカタへ移動し、そこで5日間過ごした(第5段落)。したがって、正解は②→④→③→①となる。

## 【語句・表現】

- ・ following 「次の、続く」
- ・ order 「順番」
- ・ Kolkata 「コルカタ」: インド北東部、西ベンガル州の州都。
- ・ get to do 「～するようになる」
- ・ local 「地元の、現地の」
- ・ New Delhi 「ニューデリー」: インドの首都。
- ・ Taj Mahal 「タージマハル」: アグラにある霊廟。インドの代表的イスラム建築。
- ・ Agra 「アグラ」: インド北部の都市。

問2 「インドでの滞在中、筆者にとって最も大変な経験は何だったか」 17

- ① ホテルでお湯を使うことができなかった。
- ② 食中毒で具合が悪くなった。
- ③ ガイドブックなしで散策している間に道に迷った。

④ お金をだまし取られそうになった。

正解⇒②

第6段落第2文に「インド2日目に食中毒になり寝込んだとき以外は、危険な状況に巻き込まれることはありませんでした」とあることから、食中毒になったのが唯一の大変な出来事だったことがわかる。第2段落第3～4文に「思っていたより清潔で感じの良いホテルでしたが、シャワーのお湯が出ませんでした。最初はそれが不便だと思いましたが、インドの気温が高いおかげで、それほど大きな問題にはなりません」とあるように、ホテルでお湯が使えなかったのは事実だが、それは大きな問題にならなかったことがわかるので、①は不適切。他の選択肢の内容については言及されていない。

## 【語句・表現】

- ・ food poisoning 「食中毒」
- ・ lose one's way 「道に迷う」
- ・ move round 「散策する、歩き回る」
- ・ nearly 「もう少しで」
- ・ cheat O out of 「O から～をだまし取る」

問3 「この話から、筆者は 18 ということがわかる」

- ① 訪れたすべての町を気に入ったわけではない
- ② インド人が将来について前向きであると知った
- ③ できるだけたくさんの観光地を訪れようとした
- ④ 一人で歩き回るのを怖がっていた

正解⇒②

筆者が現地で知り合ったカビールに連れられてガイドブックに載っていない場所を訪ねた際の話として、「私の目には、多くの人の生活水準がちゃんとした生活を送れるほど高くないように見えました。カビールは、みんな将来はより良い生活を送れるという希望を持っているのだと言いました」(第3段落第7文)と述べられている。したがって、②が本文から読み取れる内容だと言える。筆者はニューデリーに滞在中に近隣の町を訪れ、「それぞれの町で素晴らしい時間を過ごしま

した」(第4段落第2文)と述べており、またその後訪れたコルカタの町も気に入っていることから、①は誤り。筆者はいくつかの観光地を訪ねているが、現地の人と交流し、インドの生活を体験することも楽しんでおり、「できるだけたくさん」訪れようとしたとは言えないため、③も誤り。筆者はカビールと一緒にいるとき以外はインドの町を一人で歩き回っており、④も誤り。

## 【語句・表現】

- ・ as ... as possible 「できるだけ…」
- ・ tourist spot 「観光地」
- ・ by oneself 「一人で」

## 【全訳】

あなたは旅行が好きで、旅行雑誌でイギリスの大学生が書いた面白い話を見つけました。

2019年の7月に高校を卒業した後、私はインドへ一人旅に行きました。小学生の時にインドの暮らしに関するドキュメンタリー番組を見てから、ずっとこの風変わりな魅力的な国を訪れたいと思っていました。

9月の後半に、私はインドの首都、ニューデリーへ飛びました。地下鉄に乗って空港から町の中心へ行き、前もって予約していた小さなホテルにチェックインしました。思っていたより清潔で感じの良いホテルでしたが、シャワーのお湯が出ませんでした。最初はそれが不便だと思いましたが、インドの気温が高いおかげで、それほど大きな問題にはなりませんでした。

最初の2週間はニューデリーを散策して過ごしました。壮大なお寺や宮殿などの歴史的建造物を見て楽しみました。5日目に、カビールという名の現地の大学生と知り合いました。私が広場でチャパティというインドの伝統的なパンを食べていると、彼が話しかけてきました。インドの暮らしを体験するために一人旅をしているのだと言うと、彼は案内を申し出てくれました。彼は市場や店、住宅地など、ガイドブックに載っていない地元の場所に連れていってくれました。私の目には、多くの人の生活水準がちゃんとした生活を送れるほど高くないように見えました。カビールは、



みんな将来はより良い生活を送れるという希望を持っているのだと言いました。この経験は学校では学ぶことのできない素晴らしい教訓を私に教えてくれました。彼はいつかヨーロッパで働きたいとも言ったので、私たちはメールアドレスを交換し、今度はヨーロッパで会おうと約束しました。

カビールはいくつか近くの町を訪れる手助けもしてくれました。それぞれの町で素晴らしい時間を過ごしましたが、最も記憶に残ったのは、ニューデリーの南東にあるアグラという町です。それは私がニューデリーを発つ2日前のことで、私たちの最後の旅行となりました。私たちは世界で最も美しい建造物の一つであるタージマハルに行きました。私はとても感動し、インドの歴史にさらに興味を持ちました。

ニューデリーに2週間滞在した後、インド北東部の大都市、コルカタへ飛行機で行きました。コルカタは人通りが多く、騒がしく、活気のある町で、私はその雰囲気をすぐに気に入りました。さまざまな観光地を訪ねたり、現地の人や他の観光客と交流したりして楽しみました。そこには5日間滞在し、10月16日に帰国しました。

正直に言うと、旅行の前は何か重大な問題を生じるのではないかと少し心配していました。しかし、インド2日目に食中毒になり寝込んだとき以外は、危険な状況に巻き込まれることはありませんでした。私はたくさんの素晴らしい場所を訪れ、自分とはまったく異なる生活スタイルを見て、カビールや他にも数名の人と友達になりました。一すべてが印象深く、視野を広げてくれました。

## 【語句・表現】

〈第1段落〉

- ・ graduate from 「～を卒業する」
- ・ exotic 「風変わりな、異国情緒のある」
- ・ fascinating 「魅力的な」
- ・ programme 「番組」: イギリス英語つづり。アメリカ英語では program とつづる。
- ・ primary school 「小学校」: イギリス英語の言い方。アメリカ英語では elementary school と言う。

〈第2段落〉

- ・ fly to 「飛行機で～へ行く」
- ・ capital 「首都」
- ・ underground 「地下鉄」: イギリス英語の言い方。アメリカ英語では subway と言う。
- ・ book 「～を予約する」
- ・ beforehand 「前もって」

- ・ available 「利用できる, 入手できる」
- ・ inconvenient 「不便な」
- ・ at first 「最初は」
- ・ turn out to be ~ 「～であることがわかる, 結局～となる」
- 〈第3段落〉
- ・ magnificent 「壮大な, 荘厳な」
- ・ palace 「宮殿」
- ・ historic 「歴史上重要な, 歴史的な」
- ・ chapati 「チャパティ」: 北インドの伝統的なパンの一種。
- ・ square 「広場」
- ・ offer to do 「～することを申し出る」
- ・ show O round 「～を案内する, ～に見せて回る」
- ・ residential 「住宅の」
- ・ living standard 「生活水準」
- ・ decent 「まともな, 十分な」
- ・ lesson 「教訓」
- ・ exchange 「～を交換する」
- 〈第4段落〉
- ・ neighbouring 「近隣の, 近所の」: イギリス英語つづり。アメリカ英語では neighboring とつづる。
- ・ memorable 「記憶に残る, 忘れられない」
- ・ be impressed 「感銘を受ける, 感動する」
- 〈第5段落〉
- ・ lively 「元気な, 活発な」
- ・ atmosphere 「雰囲気」
- ・ immediately 「すぐに, 即座に」
- 〈第6段落〉
- ・ to be honest 「正直に言うと」
- ・ get in trouble 「面倒に巻き込まれる」
- ・ except when SV ~ 「～するとき以外は」
- ・ brilliant 「素晴らしい, 立派な」
- ・ totally 「完全に, まったく」
- ・ impression 「印象」
- ・ broaden 「～を広げる」
- ・ horizons 「視野, 見識」

## 第4問

## 出題のねらい

メールのやりとりと資料から, 適切な情報を読み取る能力をみる。

## 設問解説

問1 「誠は 19 ので, 講義についていけるかを心配している」

- ① 授業の予習をする時間が十分に取れない
- ② よく知らない人といるとすぐに緊張してしまう
- ③ これまでに英語で授業を受けたことがない
- ④ 授業で使われるプログラミングコードの経験がない

正解⇒④

誠の最初のメールの第2段落第2・3文「ただ, 普段プログラミング言語で Pikony を使っているため, 授業についていけるか気になります。Trysis の経験がまったくなくても, 受講することは可能でしょうか」より, 誠は「ロボット工学」で使われるプログラミングコード(Trysis)の経験がないのを心配していることがわかる。したがって, 正解は④。同メール第3段落で英語力を心配しているが, 学校で英語の授業を受けたことがあると述べられているため③は誤り。①や②の内容は述べられていない。

## 【語句・表現】

- ・ keep up with ~ 「～についていく」
- ・ nervous 「緊張している, 不安な」

問2 「リンダは 20 ということを示唆している」

- ① 誠は今回は入門講座のみ受講するべきだ
- ② 「ロボット工学」を受講すると誠は授業の復習に時間をかける必要があるだろう
- ③ 個人指導プログラムは主に海外の学生向けである
- ④ Trysis は一般的に Pikony よりも役に立つコードである

正解⇒②

リンダの返事の第2段落第2文に「『ロボット工学』についていけるかどうかは, 現在のあなたの技術や知識だけでなく, どれくらいやる気があり, どれくらいの時間とエネルギーを各授業の復習に費やせるかによります」とあり, この講座を受講する場合, 授業の復習に時間をかけることが大切になると述べている。したがって, リンダが示唆している内容として適切なのは②だ。中級講座である「ロボット工学」は高校生にとって難しいものだと述べているが, 誠の経験を考慮すると挑戦する価値があると答えているため①は誤り。③や④に該当する内容は述べられていない。

## 【語句・表現】

- ・ suggest 「～と示唆する, それとなく言う」
- ・ introductory 「入門の」
- ・ engineering 「工学」
- ・ require O to do 「O に～することを求める」
- ・ review 「～を復習する」
- ・ tutor 「個人指導をする」
- ・ mainly 「主に」
- ・ generally 「一般的に」

問3 「ロボット工学が社会でどのような役割を果たしているのかを学ぶことに興味があるが, 実用的な技術の習得には興味がない場合, 21 を受講する可能性が最も高い」

- ① コンピュータプログラミングの基礎
- ② コンピュータエンジニアのための英語
- ③ ロボット工学入門
- ④ ロボット工学

正解⇒③

メールのやり取りの後に書かれている講座の紹介を参考に考えよう。「ロボット工学入門」の説明に「ロボット工学の歴史, 現状, 将来の可能性について学びます」とあり, 「ロボット工学が社会でどのような役割を果たしているか」という内容に最も合う講座だと言える。したがって, 正解は③。

## 【語句・表現】

- ・ role 「役割」
- ・ robotics 「ロボット工学」
- ・ acquire 「～を習得する, 得る」
- ・ practical 「実用的な, 実践的な」

- ・ basics 「基礎」
- ・ engineer 「エンジニア, 工学者」

問4 「誠は, リンダの返答が 22 と考えている」

- ① 期待外れだ
- ② 励みとなる
- ③ 単純だ
- ④ 不明瞭だ

正解⇒②

誠の2つ目のメールの冒頭に「詳細な返答に感謝いたします。『ロボット工学』をとることを前向きに考えています」とあり, リンダの返答を読んで, 興味を持っていた講座を受講しようと考えようになったことから, ②が最も適切。

## 【語句・表現】

- ・ disappointing 「期待外れの, がっかりさせる」
- ・ encouraging 「励みになる, 自信を与える」

問5 「誠はリンダの助言に基づいて2つの講座を取ることに決めた。また, 個人指導プログラムを全部で4時間受けようと考えている。彼は授業料にいくら支払うことになるか」 23

- ① 320ドル
- ② 360ドル
- ③ 400ドル
- ④ 440ドル
- ⑤ 480ドル
- ⑥ 520ドル

正解⇒④

リンダは「ロボット工学」以外に「ロボット工学入門」「コンピュータプログラミングの基礎」「コンピュータエンジニアのための英語」に言及している。誠は2つ目のメールで「もう1講座受講する」と述べたうえで, 「これまで独学でコンピュータ言語を学んできて, プログラミングの基本的な考えを十分には理解していないので, プログラミングを体系的に学びたいと思ってきました。したがって, それを基礎から学べる機会を利用しようと思います。新しいコードを学べるのも魅力的です」(第3段落)と書いている。これを

踏まえると、彼は「コンピュータプログラミングの基礎」を受講するつもりだと考えられる。授業料は、1時間あたり講義が20ドル、個人指導が10ドルと書かれている。また、「ロボット工学」は2時間×6講義=12時間、「コンピュータプログラミングの基礎」が2時間×4講義=8時間なので、講義は合わせて20時間受講する。これに個人指導プログラムの4時間を合わせると、講義：20ドル×20時間=400ドル、個人指導：10ドル×4時間=40ドルとなり、合わせて440ドルになる。したがって、正解は④。

## 【語句・表現】

- ・based on 「～に基づいて」
- ・in total 「合計で」
- ・fee 「授業料」

## 【全訳】

あなたの友人の鈴木誠は、夏休みにアメリカの大学で開講されるオンラインコースを受講しようと考えています。彼は事務局に問い合わせのメールを送りました。あなたもその夏期コースに興味があるので、彼が以下のメールのやり取りを見せてくれています。

宛先：リンダ・テイラー

テイラー様

私は日本の高校生です。部活動でコンピュータプログラミングを勉強しており、これまでに3つのアプリを作りました。貴校のオンラインコースでロボットの設計の方法を学びたいです。

私はロボット工学の実用的な技術や知識を身につけたいと考えているので、「ロボット工学」が最も魅力的に思えます。ただ、普段プログラミング言語でPikonyを使っているため、授業についていけるか気になります。Trysisの経験がまったくなくても、受講することは可能でしょうか。もしくは、最初にその使い方を身につける必要があるでしょうか。

また、自分の英語力も心配です。学校で数年間英語の授業を受けたり、コンピュータテクノロジーの参考書を英語で読んだりしたことがあります。英語でコミュニケーションをとるのに慣れていません。

敬具  
鈴木誠

宛先：鈴木誠

鈴木様

お問い合わせありがとうございます。私たちの講座はきっとあなたの期待に沿うものになるでしょう。

最初の質問に答えると、「場合による」ということしか言えません。つまり、「ロボット工学」についていけるかどうかは、現在のあなたの技術や知識だけでなく、どれくらいやる気があり、どれくらいの時間とエネルギーを各授業の復習に費やせるかによります。高校生には少し難しいかもしれませんが（実際、私たちは高校生には「ロボット工学入門」の受講を勧めるのが普通です）。しかし、コンピュータについて実践的な経験があるようなので、きっと挑戦してみる価値があるでしょう。

おっしゃる通り、授業ではTrysisを用いますが、必ずしも問題にはならないと思います。TrysisとPikonyは基本的な論理が共通なので、それほど困難なく慣れるでしょう。実際、普段はTrysis以外のプログラミングコードを使っているという参加者が毎年いますが、ほとんどが問題なく講義を理解しています。Trysisをどのように動かすか段階を追って学びたいのであれば、「コンピュータプログラミングの基礎」を受講することをお勧めします。

英語の理解力に関しては、あなたが私たちの講座に参加するのに何の問題もありません。文面から、十分な英語力があるように見受けられます。実際のところ、受講生は録画された講義を見て、オンライン上で課題を提出したり質問をしたりするので、英会話能力は受講するうえでそれほど重要ではありません。英語力を高めることに興味があるのなら、「コンピュータエンジニアのための英語」はいかがですか。コンピュータサイエンスの研究に役立つ英語を学ぶことができます。

講義に加えて、個人指導プログラムが学習に役立つかもしれません。大学院生に、講義で不明瞭なところを質問したり、大学での勉強について尋ねたりすることができます。

私たちの夏期講座を最大限利用して、たくさんのお話を学んでください！

それでは、  
リンダ・テイラー

宛先：リンダ・テイラー

テイラー様

詳細な返答に感謝いたします。「ロボット工学」をとることを前向きに考えています。大変かもしれませんが、ロボット工学についてたくさんのお話を楽しく学べると確信しています。

お勧めしていただいた他の講座—「ロボット工学入門」「コンピュータプログラミングの基礎」「コンピュータエンジニアのための英語」—も役に立ちそうで興味深く思いますが、復習に費やさなければならぬ時間を考えると、受講できるのはもう1講座だけになります。

これまで独学でコンピュータ言語を学んできて、プログラミングの基本的な考えを十分に理解していないので、プログラミングを体系的に学びたいと思ってきました。したがって、それを基礎から学べる機会を利用しようと思います。新しいコードを学べるのも魅力的です。

個人指導プログラムは利用するつもりです。コンピュータ科学を学んでいる大学院生と話ができるのを楽しみにしています。

敬具  
鈴木誠

## 講座情報

## ロボット工学入門

ロボット工学の歴史、現状、将来の可能性について学びます。特別な技術は求められませんが、コンピュータプログラミングの基礎的な知識があると助けになるでしょう。

📖 入門 🕒 2時間×6講義

## ロボット工学

人工知能とディープラーニングに基づいたロボットシステムの設計方法を学びます。コンピュータプログラミングの経験が望まれます。プログラミングコードとしてTrysisを使います。

📖 中級 🕒 2時間×6講義

## コンピュータプログラミングの基礎

最も広く使われているコードの一つであるTrysisを用いてコンピュータプログラミングの基礎を学びます。ITやコンピュータ科学に興味のある人に役立ちます。

📖 入門 🕒 2時間×4講義

## コンピュータエンジニアのための英語

コンピュータ科学の分野で使われる英語を学びます。コンピュータ科学に携わっている非英語話者を対象としています。

📖 入門 🕒 2時間×2講義

## 個人指導プログラム

ビデオ会議アプリを用いて、大学院生が講座の教材の他、学習に関するどんな質問にも答えます。会員専用ウェブページにて予約ができます。

## 授業料

講義 20ドル/時間  
個人指導 10ドル/時間

注意

- すべての講義は前もって録画されているので、有効期限内であればいつでも何度でも視聴することができます。
- 会員専用ウェブページのウェブフォームで講師へ質問をすることができます。

【語句・表現】

- ・ provide 「～を提供する」
- ・ organizer 「事務局、主催者」
- ・ following 「次の、以下の」
- ・ exchange 「やり取り」
- 〈誠のメール〉
- ・ app 「アプリ」: application 「アプリケーション」の略。
- ・ so far 「今のところ」
- ・ design 「～を設計する、デザインする」
- ・ attractive 「魅力的な」
- ・ comprehension 「理解力」
- ・ reference book 「参考書」
- ・ be used to ～ 「～に慣れている」
- ・ sincerely 「敬具」
- 〈リングのメール〉
- ・ inquiry 「問い合わせ、質問」
- ・ match 「～に合う、一致する」
- ・ expectation 「期待」
- ・ It depends. 「場合による」
- ・ I mean 「つまり」
- ・ depend on ～ 「～次第である」
- ・ current 「現在の」
- ・ motivated 「やる気がある」
- ・ devote O to ～ 「～にOを捧げる」
- ・ recommend 「～を勧める」
- ・ worth *doing* 「～する価値がある」
- ・ share 「～を共有する」
- ・ logic 「論理」
- ・ participant 「参加者」
- ・ other than ～ 「～以外」
- ・ have trouble *doing* 「～するのに苦労する」
- ・ step by step 「着実に、少しずつ」
- ・ as for ～ 「～に関して言うと」
- ・ attend 「～に出席する、参加する」
- ・ record 「～を録画する、記録する」
- ・ assignment 「課題、宿題」
- ・ ability 「能力」
- ・ in addition to ～ 「～に加えて」
- ・ graduate student 「大学院生」

第5問

出題のねらい

長めの英文を読み、時系列に沿って要点を把握する力を問う。

設問解説

問1 「あなたの発表の最も適切な副題はどれか」

24

- ① 第一次世界大戦の勇敢な兵士
- ② 自身の曲を作曲した偉大なピアニスト
- ③ 自身の運命と戦った音楽家
- ④ オーストリアの片腕の作曲家

正解⇒ ③

本文の主人公は、ポール・ワイトゲンシュタインという20世紀前半から半ばにかけて活躍したウィーン出身のピアニストである(第1段落)。彼は、第一次世界大戦で負傷し右腕を失うという運命を背負いながらも(第3段落)、懸命な努力で再起を果たし新たな境地を開いた音楽家であった(第4段落)。第二次世界大戦の余波を受けて故郷のウィーンを離れることになったが(第5段落)、アメリカでもピアノから離れることはなく穏やかな余生を送った(第6段落)。よって、③が正解。

①に関しては兵士という役割が本文の中心ではないため、②と④については自身で作曲を行ったという記述が本文に存在しないため、それぞれ誤り。

【語句・表現】

- ・ subtitle 「副題」
- ・ presentation 「発表、プレゼンテーション」
- ・ brave 「勇敢な」
- ・ of one's own 「自分自身の」
- ・ fate 「運命」
- ・ one-armed 「片腕の」
- ・ composer 「作曲家」
- ・ Austria 「オーストリア」

問2 「25」と「26」に入る最も適切な選択肢を2つ選び若い頃を完成させなさい(順序は問わない)」

- ① ポールの父は彼にピアニストになって欲

しくなかった。

- ② ポールの父は彼にピアノの弾き方を教えた。
- ③ ポールは自身初めての演奏会を子供のときに開いた。
- ④ ポールは彼の父の跡を進んで継ごうとしていた。
- ⑤ 何人もの偉大な音楽家がワイトゲンシュタイン家の家を訪れた。

正解⇒ ①・⑤

第2段落の「カールはポールが音楽家になることに反対した」という記述、および第1段落の「カールはヨハネス・ブラームスやグスタフ・マーラーのような偉大な作曲家たちを彼の大邸宅に招待した」という記述から、①と⑤が正解。②と④に関しては本文に該当する記述が無いため、③については第1段落と第2段落より彼が成人した後初めて演奏公演を行ったことがわかるため、それぞれ誤り。

【語句・表現】

- ・ option 「選択肢」
- ・ complete 「～を完成させる」
- ・ order 「順序、順番」
- ・ matter 「重要である」
- ・ want O to do 「Oに～して欲しいと思う」
- ・ hold 「～を開催する」
- ・ in one's childhood 「子供のときに」
- ・ be willing to do 「快く～する、進んで～する」
- ・ succeed 「～のあとを継ぐ」

問3 「起こった順に5つの出来事から4つを選び重要な出来事の時系列を完成させなさい」

27 → 28 → 29 → 30

- ① オーストリアがドイツの支配下となった。
- ② モーリス・ラヴェルはポールに新しい作品を書いた。
- ③ ポールはウィーンで自身初めての演奏会を開いた。
- ④ ポールは右腕を失った。
- ⑤ ポールは特別な賞を受賞し大金を得た。

正解⇒ 27 ③ 28 ④  
29 ② 30 ①

第2段落より、1913年にポールが初めて演奏会を開いたことがわかる。次の第3段落から、1914年に彼が戦地において右腕を失ったことがわかる。第4段落では、シベリアから帰還し片腕のピアニストとして再起を果たし、更なる活躍のためにラヴェルに作曲依頼を行う記述がある。そして、第5段落において、1938年にナチスドイツがオーストリアを支配下においたことが書かれている。したがって、③→④→②→①の順が正解となる。なお、本文中にポールが賞を受賞し大金を得たという記述は無いため、⑤は誤りの選択肢となる。

【語句・表現】

- ・ event 「出来事」
- ・ happen 「起こる」
- ・ sequence 「(時)系列、連なり」
- ・ key 「重要な、かぎとなる」
- ・ fall under the control of ～ 「～の支配下になる」
- ・ work 「作品」
- ・ Vienna 「ウィーン」
- ・ lose 「～を失う」
- ・ receive 「～を受ける、～を受け取る」
- ・ award 「賞」
- ・ earn 「～を稼ぐ、～を得る」

問4 「31」に入る最も適切な選択肢を選び性格を完成させなさい」

- ① お金を稼ぐことに熱心で、彼はいつも生徒にピアノを高い授業料で教えていた
- ② かなり親しみやすい性格で、彼は他のプロの音楽家たちとうまくやっていた
- ③ 保守的なピアニストで、彼は新しい曲を演奏しようとしなかった
- ④ 頑固な演奏家で、彼はある作品についてある有名な作曲家と言い争った

正解⇒ ④

第4段落に、ポールとラヴェルに関して「ポールはとても頑固な性格だったので彼らの仲は悪くなり、ポールはラヴェルに『演奏家は奴隷であってはならない』と言い、それに対してラヴェルは『演奏家は奴隷である』と言い返したと言われていた」という記述があることから、④が正解となり、その反対の内容を表す②は誤りとなる。なお、①は第6段落の冒頭で無償でピアノを教えていた

という記述があるため、③は該当する記述が無くかつ自身が演奏するための作品の作曲依頼を積極的に行っていたことが本文からわかるため、それぞれ誤り。

## 【語句・表現】

- ・ character 「性格」
- ・ be eager to do 「～することを熱望している」
- ・ fee 「受講料」
- ・ get along with ～ 「～とうまくやる」
- ・ conservative 「保守的な」
- ・ be reluctant to do 「～することに気が進まない」
- ・ piece 「作品」
- ・ stubborn 「頑固な」
- ・ performer 「演奏家」
- ・ argue with ～ 「～と言い争う」

問5 「32」に入る最も適切な選択肢を選び業績と遺産を完成させなさい

- ① ポールはウィーンにある有名なコンサートホールを建てた。
- ② ポールは莫大なお金を将来のピアニストを育てるために残した。
- ③ ポールの教え子は有名なピアニストとなった。
- ④ ポールが作曲家に作曲を依頼した作品を演奏するピアニストがいる。

正解⇒④

第6段落のポールの死に関する記述のなかで「左手のためのピアノ曲はどうなったのか。幸運なことに、それらを弾き続けている片腕のピアニストが何人かいる」という箇所から、④が正解となる。①, ②, ③は該当する記述が本文中に無いためそれぞれ誤り。

## 【語句・表現】

- ・ achievement 「業績, 達成」
- ・ legacy 「遺産, 受け継がれたもの」
- ・ a huge amount of ～ 「大量の～, 莫大な～」
- ・ develop 「～を育てる, 発展させる」
- ・ ask O to do 「Oに～することを頼む」

## 【全訳】

英語の授業で、あなたはある音楽家に関する発表を行う予定です。以下の文章を読み、発表のためのノートを準備しました。

1928年の3月、ウィーンにて、観客は一人のピアニストに拍手を送っていたが、それは彼が彼らを楽しませたからというよりは、彼が左手だけで彼らの心を動かしたからであった。そのピアニストとはポール・ワイトゲンシュタインであり、彼は1887年にウィーンのとてつも裕福な家に生まれた。彼の父親はカール・ワイトゲンシュタインであり、成功を収めた実業家でありかつ芸術を愛する者であった。カールはヨハネス・ブラームスやグスタフ・マーラーのような偉大な作曲家たちを彼の邸宅に招待した。そのような家庭環境はポールのプロのピアニストになるという決心を後押しした。



カールはポールが音楽家になることに反対したが、その理由の一つは、自分の息子の誰かに自身の事業を継いで欲しかったためであった。しかしながら、1913年、カールの死後のおよそ10か月後に、ポールはウィーンのある有名なコンサートホールで自身初めての演奏会を開いた。彼は技巧的に難しいピアノとオーケストラのための作品をいくつか演奏した。彼の初舞台はかなりの成功を収め、辛口の批評家が彼の演奏を褒めたたえ、彼の将来を大いに期待するほどであった。彼はプロの音楽家としての自信を得たが、オーストリアの未来に暗雲が立ち込めつつあることに気づいてはいなかった。

1914年6月28日、一人のセルビア人学生が、当時のオーストリア皇太子フランツ・フェルディナンドを撃ち殺し、第一次世界大戦の引き金となった。ポールは軍に入り、ロシアと戦うためにガリツィア（現在のポーランドとウクライナにまたがる）に派遣された。1914年8月23日、敵の弾丸を受けて、彼は右腕の肘をひどく負傷した。気がつくと彼は病院のベッドで寝ており、自身が敵に囲まれていること、さらに右腕が失われていることを知りショックを受けた。彼はシベリアに送られ厳しい捕虜生活に苦しんだが、ピアノを弾くことをあきらめることは決して無く、5本の指で木箱を叩きながら、一日に何時間もピアノの練習に費

やした。

ポールがシベリアからウィーンに帰ってきたのは1915年の11月であった。翌年、彼の復帰公演が彼の初舞台と同じ場所で開かれ、独特の仕方でもダルを使い片手で鍵盤を叩くことで新しい技法を生み出していたため、観客を本当に感動させた。他方で、片腕のピアニストのための作品は当時ほとんど無く、彼の演奏は制限されていた。大金を費やして、彼は何人かの著名な作曲家に自分のために新しい作品を書いてくれるように説得した。そのうちの一人が、当時の著名なフランス人作曲家、モーリス・ラヴェルであった。ラヴェルは「左手のためのピアノ協奏曲」を作曲した。1932年1月、ポールはウィーンにてその作品を公の場で初めて演奏した。ポールはその作品の一部を変更したいと思い、ラヴェルに変更することを願い出たが、ラヴェルはそうすることを断った。ポールはとても頑固な性格だったので彼らの仲は悪くなり、ポールはラヴェルに「演奏家は奴隷であってはならない」と言い、それに対してラヴェルは「演奏家は奴隷である」と言い返したと言われている。結局、ポールがラヴェルに折れ、1933年の1月、パリで彼はその作品をラヴェルの指揮で演奏した。これが、彼の全盛期となった。

ポールの成功とは裏腹に、オーストリアの社会情勢は第一次世界大戦後さらに悪化していた。ナチスドイツはその力を拡大させ1938年にオーストリアを掌握した。ユダヤ人を排斥するニュルンベルク法により、ポールはユダヤ人とみなされ、彼は母国からアメリカ合衆国へと妻と子供たちを連れて脱出せざるを得なかった。

アメリカ合衆国へ移った後は、教え子にピアノを無償で教えながら、彼は家族と平和な生活を送った。1961年、73歳の時、彼は第二の母国で亡くなった。左手のためのピアノ曲はどうなったのか。幸運なことに、それらを弾き続けている片腕のピアニストが何人かいる。社会が将来有望な音楽家の運命を変えることはあっても、偉大な音楽は永遠に響き続けるだろう。

あなたの発表のためのノート

ポール・ワイトゲンシュタイン  
(1887 - 1961)  
— 24 —

若い頃

- ポールはウィーンの裕福な家庭に生まれた。
- 25
- 26

重要な出来事の時系列

27

28  
ポールの復帰コンサートは成功した。

29

30  
ポールはアメリカ合衆国に移った。

性格

- 彼は 31。

業績と遺産

- ポールは左手でピアノを弾くことで新しい技法を生み出した。
- ポールは作曲家たちに左手のための新しい作品を書いてもらった。
- 32

## 【語句・表現】

- ・ passage 「文章」
  - ・ prepare 「～を準備する」
- 〈第1段落〉
- ・ audience 「観客, 聴衆」
  - ・ give applause to ～ 「～に拍手を送る」
  - ・ not so much A as B 「AというよりはむしろB」
  - ・ move 「～を感動させる」
  - ・ successful 「成功した」
  - ・ industrialist 「実業家」
  - ・ background 「背景」
  - ・ encourage O to do 「Oに～するように励ます, 後押しをする」
- 〈第2段落〉
- ・ take over ～ 「～を引き継ぐ」
  - ・ business 「事業」
  - ・ technically 「技巧的に, 技術的に」

- ・ severe 「厳しい」
- ・ critic 「批評家」
- ・ praise 「～を誉める」
- ・ expect much of ～ 「～に大いに期待する」
- ・ gain 「～を得る, 獲得する」
- ・ confidence 「自信」
- ・ hang over ～ 「～にかかる, 垂れ下がる」  
〈第3段落〉
- ・ Serbian 「セルビア人の」
- ・ Crown Prince 「皇太子」
- ・ in those days 「当時」
- ・ trigger 「～の引き金となる, ～を引き起こす」
- ・ join 「～に参加する, 加わる」
- ・ army 「軍隊」
- ・ dispatch O to ～ 「O を～に派遣する」
- ・ fight against ～ 「～と戦う, 闘う」
- ・ hit 「～に打撃を与える」
- ・ enemy 「敵の, 敵」
- ・ bullet 「銃弾, 弾丸」
- ・ severely 「激しく, 厳しく」
- ・ wound 「～をけがさせる」
- ・ elbow 「肘」
- ・ find oneself *doing* 「気がつくとき～している」:  
本文では being が省略されたものと考えられる。
- ・ shock 「～に精神的打撃を与える, ショックを  
与える」
- ・ surround 「～を取り囲む」
- ・ suffer 「～に苦しむ」
- ・ prison life 「捕虜生活, 刑務所生活」
- ・ give up *doing* 「～することをあきらめる」
- ・ spend O *doing* 「O を～することに費やす」
- ・ several 「いくつかの」
- ・ tap 「～を叩く」
- ・ wooden 「木製の」  
〈第4段落〉
- ・ Siberia 「シベリア」
- ・ debut 「デビュー」
- ・ impress 「～に印象を与える, ～を感動させる」
- ・ create 「～をつくり出す」
- ・ skill 「技能, 技術」
- ・ uniquely 「独特に」
- ・ pedal 「ペダル」
- ・ touch 「～を触る」
- ・ keyboard 「鍵盤」
- ・ on the other hand 「他方で」
- ・ few 「ほとんど～ない」
- ・ persuade O to *do* 「O を説得して～させる」
- ・ at that time 「当時」

- ・ concerto 「協奏曲, コンチェルト」
- ・ in public 「公で, 人前で」
- ・ for the first time 「初めて」
- ・ refuse 「～を拒絶する, 断る」
- ・ obstinate 「頑固な」
- ・ relationship 「(人間) 関係, 関係性」
- ・ break down 「崩壊する」
- ・ slave 「奴隷」
- ・ reply 「返事をする」
- ・ after all 「結局」
- ・ give in to ～ 「～に折れる, 屈する」
- ・ conduct 「～を指揮する」
- ・ the height of one's career 「～の全盛期」  
〈第5段落〉
- ・ in contrast to ～ 「～とは対照的に」
- ・ career 「経歴, キャリア」
- ・ social 「社会の」
- ・ situation 「状況」
- ・ worse 「より悪い」
- ・ Nazi Germany 「ナチスドイツ」
- ・ extend 「～を拡大する」
- ・ take control of ～ 「～を支配する」
- ・ the Nuremberg Laws 「ニュルンベルク法」
- ・ exclude 「～を排斥する, 除外する」
- ・ Jewish 「ユダヤ人 (の)」
- ・ regard O as ～ 「O を～とみなす」
- ・ escape from ～ 「～から脱出する, 逃げる」
- ・ homeland 「祖国, 母国」  
〈第6段落〉
- ・ peaceful 「平和な」
- ・ for free 「無料で」
- ・ what has become of ～? 「～はどうなったか,  
～はどうしたか」
- ・ fortunately 「幸運にも」
- ・ promising 「将来有望な」
- ・ remain 「～のままである」
- ・ ring 「響く, 鳴る」

## 第6問

## A

## 出題のねらい

長めの文章を読み, 要点を把握する力, 情報を整理しながら読む力をみる。

## 設問解説

問1 「33」に最適な選択肢を選びなさい

- ① 困難な状況を乗り越えるための精神力
- ② ノルマン人に固有の身体的な力
- ③ 人生全般に対する前向きな姿勢
- ④ 人生をより良くするための独自の努力

正解⇒①

本文の冒頭で, 北欧諸国の幸福度が世界的に高いことの原因として「シス」というフィンランド由来の概念を挙げており, 本文全体でシスについて説明している。第1段落最終文「我々人間は逆境に直面したとき弱い存在であるのだが, ある種の内面的強さを共有していること, そして, それによって困難を乗り越えられること」などの記述から, ①が適切。

## 【語句・表現】

- ・ mental 「精神の」
- ・ strength 「強さ」
- ・ get over ～ 「～を乗り越える, 克服する」
- ・ tough 「困難な, 難しい」
- ・ physical 「身体的な, 肉体の」
- ・ Nordic 「北欧の」
- ・ attitude 「姿勢, 心構え」
- ・ in general 「一般的な」

問2 「34」に最適な選択肢を選びなさい

- ① さまざまな苦境に立ち向かうことを難しく(した)
- ② 面倒な人に対処する際に嘘をつきやすく(した)
- ③ 世界が第二次世界大戦を回避することを不可能に(した)
- ④ フィンランドがその独立を維持することを可能に(した)

正解⇒④

要約メモで空所を含む箇所は, 「幸せでいる秘訣はシスにある。それは34した」という意味だ。made itに続く補語から選択肢が提示されている。このitは形式目的語で「to do以下を～な状態にした」となる。第2段落第4文や第5段落最終文から④が正解とわかる。

## 【語句・表現】

- ・ a variety of ～ 「様々な～」
- ・ deal with ～ 「～に対処する, ～を扱う」
- ・ avoid 「～を回避する」
- ・ independence 「独立」

問3 「35」に最適な選択肢を選びなさい

- ① ストレスのかかる状況をできるだけ避ける
- ② 感情を交えずに自分のしていることに集中する
- ③ 心から信頼できる人の言うことを聞く
- ④ 自分の情熱とひらめきを行動に移す

正解⇒②

シスの力を発揮するために必要なことについては第3段落で述べられている。第1文「シスの力を発揮できるかどうかにかかわらず強い気持ちは関係ない」や第4・5文「感情が割って入る余地は存在しない。ただひたすらにやり続ければ, うまくいくのだ」などの記述から, 正解は②。

## 【語句・表現】

- ・ stressful 「ストレスのかかる」
- ・ focus on ～ 「～に集中する」
- ・ turn ～ into action 「～を行動に移す」
- ・ passion 「情熱」
- ・ inspiration 「ひらめき」

問4 「36」を埋めることのできない選択肢を一つ選びなさい

- ① 他人に悪影響を与えること
- ② 自分自身に対する素直さがなくなること
- ③ 特定の目標以外に注意を向けなくなること
- ④ 自分自身の人としての成長のために危険を冒すこと

正解⇒④

要約メモで空所を含む箇所は、「残念ながら、それ(シス)は誤用されてきた」に続く3つの具体例を補うところにある。本問は、シスの誤用例として不適切なものを選ばばよい。第4段落第1文「シスには魅力もあるが、欠点もある」以下を見てみよう。第2文「目の前の仕事以外しないという極限状態に自らを追い込む」が③、第4・5文「弱さを認めながら、周囲に助けを求められない」が②、第8文「シスが多すぎると、他人を傷つけることもある。しかもその意志は固く、情け容赦は一切ない」が①に該当する。正解は④。

## 【語句・表現】

- ・effect「影響」
- ・get rid of～「～を取り除く」
- ・pay attention to～「～に注意を払う」
- ・specific「特定の」

問5 「37 から 40 にそれぞれ最適な選択肢を選びなさい。(ただし、40 は要約メモに2か所ある)」

- ① ヒュッゲ (デンマーク)
- ② ガンバル (日本)
- ③ ガッツ (米国)
- ④ カルサリカニット (フィンランド)
- ⑤ ラーゴム (スウェーデン)

正解⇒ 37 ② 38 ①  
39 ⑤ 40 ④

第5段落に、シス以外の精神が紹介されている。各用語の本文の該当箇所を確認して、要約メモと照合すればよい。③は本文に言及がない。

## 【全訳】

あなたの研究グループは「日々のトラブルや困難にどう対処すべきか」というテーマ学習をしています。インターネットを検索し、来る日も来る日も市立図書館で過ごしていた時、あなたは皆に教えた記事を発見しました。プレゼンテーションに向けた次回の打合せのための要約メモを完成させなさい。

## フィンランド人の心の中のシス

毎年、北欧の5か国が世界で一番幸福な国にランクインしているようだ。人によっては、これは大して驚くことではないかもしれない。その結果の理由はいくつもあるのだが、フィンランドのある研究者は、幸福度を押し上げる要因として「シス」を指摘している。あるフィンランド人女性がかつてこう言った。「シスがあれば固い土でも通り抜けるでしょう。フィンランドの地方や森林地帯に広がる灰色の地面を見れば、そこで生き抜くのはとにかく大変だと悟るでしょう。シスの歴史は何百年も昔にさかのぼるものですが、フィンランド人が大切にしてきた特質は世界中どこでも見られるものです」その概念を注視して気づかされるのは、我々人間は逆境に直面したとき弱い存在であるのだが、ある種の内面的強さを共有していること、そしてそれによって困難を乗り越えることだ。

彼女はその概念について、想像以上の忍耐力、認識している限界を越えてウルトラマラソンを走破したりステージ4のガンに打ち克つたりするといった、難しい事を成し遂げてしまう魔法のような能力と関連付けている。それは時折言及されており、多くの人が諦めた後でも、勝利するという意志とともに戦い続けるよう人々を鼓舞してきた。第二次世界大戦が終わる2年前、『タイム』誌がシスについて書き、それはアメリカ人に意識されるようになったに違いない。実際に、耐えがたい苦難の中、やり抜くことで、フィンランド人は近隣諸国からの侵略者に団結して打ち勝つことができた。ただし、それはそれぞれの人が、精神的なものであれ、身体的なものであれ、個人的な問題に対処する助けにもなっている。

シスの力を発揮できるかどうかには強い気持ちは関係ない。時には必要であるかもしれないが。実のところ、ひょっとすると、全く逆のものによるのだ。目の前の課題を好きになる必要は必ずしもない。やり遂げるまで一つのことにこだわり続けることは、ひらめきよりも努力なのだ。つまり、全身全霊でそれを追求する必要があるだけなのだ。感情が割って入る余地は存在しない。ただひたすらにやり続けられれば、うまくいくのだ。

シスには魅力もあるが、欠点もある。それは、目の前の仕事以外しないという極限状態に自らを追い込むものだ。我々から笑顔、優しい心、思いやりを奪ってしまう。どれも幸せには欠かせないものなのに。それはまた、自分の弱さを認めづらくさせてしまうこともある。「助けを求めづらい。

もし自分が弱さを認めたら面目を失う危険を冒すことに…。」あまりにも長く耐え続けられれば、気づいたら自分が有害になっているかもしれない。シスが多すぎると、他人を傷つけることもある。しかもその意志は固く、情け容赦は一切ない。そうした恐ろしい事態を回避するために助言できることがあるとすれば、それはシスを自他への思いやりと組み合わせることだ。

いったんシスのことは棚に上げて、ほかの多くの文化が持つ類似の概念を見てみよう。一つは、日本人の「ガンバル」だ。時に自分を犠牲にしながらい辛い時期を乗り越えようと努めることを意味する。我々イギリス人の「何時も冷静でいること」に似ていないだろうか？ シス以前に世界が別の北欧由来の考えを称賛するようになった。いくつか例を挙げると、デンマークの「ヒュッゲ」やスウェーデンの「ラーゴム」がある。前者はリラックスして日々の生活を満喫することを意味し、後者はバランスのとれた生活様式を追求するものだ。ご存じの通り、フィンランドのもう一つの気晴らしはシスをほぼ無意味なものにしようとするかしている…。それは「カルサリカニット」と呼ばれている。外が凍え死ぬほど寒い時に暖かい部屋でお酒を飲んでくつろぐことを暗に意味する言葉だ。英語にはこれに相当する言葉がないが、コロナウィルスの蔓延により一人であることを余儀なくされている時代に、カルサリカニット的な言葉は絶対に英語にもあるべきなのに！ 「いずれにせよ、シスがもし存在しなかったら、私はみなさんにロシア語で話しかけているかもしれませんよ」とあるフィンランド人は言っているが、これは、1939年のソ連による攻撃に対し、フィンランドが何とかして自国の独立を維持できたことを想起させるものだ。

シスはフィンランドの国民性の核をなす古の概念なのだが、フィンランド国民一人一人にとって、その概念は個人的なものだ。この文章で言及した研究者にとっては、50日間50本のウルトラマラソンでニュージーランドを走破するという彼女の目標は、確かに超人的で、目標達成にはかなりのシスが必要なものだった。シスという文化遺産の力を借りて、彼女は成し遂げたのだ。そして、世界中のすべての市民もまたそうすべきなのだ。あなたがどこで暮らしていても、今の時代でも記憶に留めておく価値がある。

あなたの要約メモ：

## フィンランド人の心の中のシス

## シスとは何か

それは 33 で、その逆は 40 だ。

## 要点

- 幸せでいる秘訣はシスにある。それは 34 した。
- この力があれば、私たちは問題を乗り越えることができる。
- シスの力を発揮するのに重要なのは、 35 ことである。
- 残念ながら、それ(シス)は 、、あるいは  などで誤用されてきた。

36

## 注目に値するその他の精神性

- 37 → 何事も完了するまで(時に狂うように)やり続けること
- 38 → ゆったりと心地よく、人生を楽しむこと
- 39 → バランスの取れた暮らしを維持すること
- 40 → くつろいだやり方で家で酔っぱらうこと

## 【語句・表現】

- ・come to terms with～「～と折り合いをつける」
- ・hardship「苦難」
- ・day after day「来る日も来る日も」
- ・article「記事」
- ・complete「～を完成させる」
- 〈第1段落〉
- ・Scandinavia「スカンジナビア」：デンマーク、ノルウェー、スウェーデン、フィンランド、アイスランドの総称。
- ・rank「～にランクインさせる」
- ・numerous「無数の」
- ・Finnish「フィンランド(人)の」
- ・researcher「研究者」
- ・motivate「～を動機づける、刺激する」
- ・grey「灰色の」

- ・scatter 「～をまき散らす」
- ・realise 「～を悟る, ～に気づく」: イギリス英語のつづり方。アメリカ英語では realize とつづる。
- ・quality 「特質」
- ・dear 「大事に, 愛情をもって」
- ・remind ~ that ... 「～に…ということを想起させる」
- ・see ~ through 「～に(苦難などを)乗り越らせる」
- 〈第2段落〉
- ・relate A to B 「AをBに関連付ける」
- ・perseverance 「忍耐力」
- ・perceive 「～を認知する」
- ・limitation 「限界」
- ・challenging 「難しい, やりがいのある」
- ・range from A to B 「AからBまでに及ぶ」
- ・ultramarathon 「ウルトラマラソン」: 48km以上を走破するクロスカントリー競技。
- ・beat 「～に打ち勝つ」
- ・refer to ~ 「～に言及する」
- ・consciousness 「意識」
- ・unbearable 「耐えられない」
- ・collectively 「集団的に, 団結して」
- ・overcome 「～を克服する」
- ・invader 「侵入者」
- ・neighbouring 「隣の」
- ・emotional or physical 「精神的なものであれ, 身体的なものであれ」= whether they are emotional or physical 〈譲歩〉
- 〈第3段落〉
- ・exhibit 「～を発揮する」
- ・involve 「～を伴う, 必要とする」
- ・passion 「感情」
- ・at times 「時々」
- ・rely on ~ 「～による, 依拠する」
- ・opposite 「正反対」
- ・not necessarily 「必ずしも～ない」
- ・stick to ~ 「～を持ち続ける, ～に固執する」
- ・perspiration 「汗, 努力」
- ・pursue 「～を追求する」
- ・being 「存在, 人生」
- ・room 「余地, スペース」: この意味の時は不可算名詞。
- ・cut in 「割って入る」
- 〈第4段落〉
- ・for all ~ 「～にもかかわらず」
- ・sweetness 「甘さ, 魅力」

- ・downside 「欠点」
- ・force O to do 「Oに～するよう強制する」
- ・extreme 「極端な」
- ・state 「状態」
- ・nothing but ~ 「～だけ」
- ・at hand 「目の前の」
- ・deprive A of B 「AからBを奪う」
- ・compassion 「思いやり」
- ・essential 「必要不可欠な」
- ・lose face 「面目を失う」
- ・persevere 「耐える」
- ・firm 「堅固な」
- ・mercy 「情け容赦」
- ・combine A with B 「AをBと組み合わせる」
- 〈第5段落〉
- ・set aside ~ 「～をわきにおく」
- ・comparable 「比較できる, 類似の」
- ・at the cost of ~ 「～を犠牲にして」
- ・keep a stiff upper lip 「何があっても平然としている, 苦境でも努力を重ねる」: 直訳は「固い上唇を保つ」。上唇を動かさないでいることは冷静さを表すもので, イギリス人の気質をあらわす表現。
- ・admire 「～を称賛する」
- ・Danish 「デンマークの」
- ・Swedish 「スウェーデンの」
- ・to name a few 「いくつか例を挙げると」
- ・the former 「前者」
- ・the latter 「後者」
- ・well-balanced 「バランスの取れた」
- ・pastime 「気晴らし, 余暇の過ごし方」
- ・threaten to do 「～する恐れがある」
- ・imply 「～を暗に意味する」
- ・get frozen to death 「凍死する」
- ・equivalent 「相当するもの」
- ・isolate 「～を孤立させる」
- ・compel 「～を強いる」
- ・COVID-19 「コロナウイルス」: corona-virus disease 2019の略。
- ・it totally should 「まったくもってそうあるべきだ」: it totally should have an English equivalent. の略。
- ・anyway 「いづれにせよ」
- ・if it had not been for ~ 「～がなかったら」: 仮定法過去完了の表現。
- ・reminder 「(～を) 想起させるもの」
- ・Soviet 「旧ソビエト連邦の」
- ・manage to do 「かろうじて～できる」

- ・preserve 「～を維持する」
- 〈第6段落〉
- ・ancient 「古くからある, 古の」
- ・national character 「国民性」
- ・mention 「～に言及する」
- ・passage 「文章」
- ・inhuman 「超人的な」
- ・accomplish 「～を成し遂げる」
- ・legacy 「遺産」
- ・worth doing 「～する価値がある」
- 〈要約メモ〉
- ・get the better of ~ 「～を乗り越える, ～を出し抜く」

## B

## 出題のねらい

長めの文章を読み, 要点を把握する力, 情報を整理しながら読む力をみる。

## 設問解説

問1 「あなたはそれぞれの種類の説明を書くように頼まれた。41, 42, 43 に最も適切な選択肢を選びなさい」

ENL 41

- ① 第一言語として多くの人が英語を使っている国
- ② ネイティブアメリカンがいる国
- ③ ヨーロッパやアメリカ大陸にある国
- ④ 公用語が3つ以上ある国

正解 ⇒ ①

ENLの説明は主に第2段落に書かれている。第2段落第1文に「ENLは人口の大多数にとって, 英語が最も重要な言語である国で話されている」と述べられていることから, ①が正解となる。他の選択肢のような記述は本文中にない。

## 【語句・表現】

- ・description 「説明」
- ・native American 「ネイティブアメリカン」
- ・more than ~ 「～より多く」
- ・official language 「公用語」

ESL 42

- ① マレーシアやインドネシアのようなアジアの国々
- ② かつて英語が話される国の植民地だった国々の一部
- ③ 英語が重要な役割を果たしていない国
- ④ イギリス以外のヨーロッパの国々

正解 ⇒ ②

ESLの説明は主に第3段落に書かれている。第3段落第1文・第2文に「ESLは英語が重要であり普通は公用語であるが, その国の主要な言語ではない国で話されている。こういった国々は概してイギリスやアメリカの元植民地である」と

述べられていることから、②が正解。第4段落第4文に「中国、インドネシア、日本、そして多くの中東の国々で、英語がEFLとして機能していると言われている」とあり、インドネシアはEFLであることが読み取れるため、①は誤り。③、④のような記述は本文中にない。

## 【語句・表現】

- ・ once 「かつて」
- ・ colony 「植民地」
- ・ other than ~ 「～以外」

## EFL 43

- ① ネイティブスピーカーによって英語が教えられていない国
- ② 日常生活で英語がめったに使われない国
- ③ 英語が学校で公的な役割をしている国
- ④ 英語を学ぶ生徒の動機が強い国

正解 ⇒ ②

EFLの説明は主に第4段落に書かれている。第4段落第2文に「EFLは英語が日常生活では普通、実際にはあまり使われも話されもしない国で見られる」と述べられていることから、②が正解。同段落第3文の後半に「英語を学ぶ動機がほとんどない」とあるため、④は誤り。本文に①、③に該当する記述はない。

## 【語句・表現】

- ・ native 「母国の」
- ・ seldom 「めったに～ない」
- ・ everyday 「日々の、日常的」
- ・ official 「公的な」
- ・ motivation 「モチベーション、動機」

問2 「あなたはこの分類の問題点について発言している。文章によると、次のうち正しい2つはどれか（順序は問わない）」 44  
45

- ① ESLの国々では皆が同じ英語の「標準的なモデル」を話している。
- ② ESLの国とEFLの国を区別するのは簡単ではない。
- ③ 中国と日本だけがEFLの国の中で重要な役割を果たしている。

- ④ 人々はENLが他のどの英語の変種よりも優れていると考えがちだ。
- ⑤ EFLの国には英語を教えることができる専門家がほとんどいない。
- ⑥ この分類は植民地主義を促進するかもしれない。

正解 ⇒ ②・④

この分類の問題点については、第5段落及び第6段落で述べられている。第5段落第6文に「すると人々は、ENLがESLやEFLといった変種よりも本質的に優れていると感じ、したがって、ESLやEFLの国々の人たちが従うべき良い英語のモデルを示していると感じてしまう」とあり、④が正解。

第6段落第1文に「この分類の二つ目の欠点は、英語の広がりにはEFLの国に正確に分類できる国を見つけるのが比較的難しいということも意味している点だ」とあり、②が正解。

第5段落第5文に「ENLの国の話し手は母語話者とみなされているので、そこで使われている変種が、全ての人によって話されている標準的な変種だと感じてしまう」とあり、標準的な変種を話しているのはENLの人々であることが読み取れるため①は誤り。③、⑤、⑥のような記述はない。

## 【語句・表現】

- ・ statement 「発言」
- ・ classification 「分類」
- ・ according to ~ 「～によれば」
- ・ text 「文章」
- ・ following 「下記のもの」
- ・ appropriate 「適切な」
- ・ order 「順番」
- ・ matter 「重要である」
- ・ standard 「標準的な、基準となる」
- ・ distinguish 「～を区別する」
- ・ tend to do 「～しがちである」
- ・ variety 「変種」
- ・ expert 「専門家」
- ・ promote 「～を促進する」
- ・ colonialism 「植民地主義」

## 【全訳】

あなたはプレゼンテーションコンテストに向けてポスターを準備する学生グループのメンバーです。あなたのグループは様々な種類の英語について調査しています。あなたはポスターを作るためにある本から以下の文章を読んでいます。

特に言語教育の世界において、おそらく最もよくある英語の分類は、母語としての英語 (ENL)、第二言語としての英語 (ESL)、そして外国語としての英語 (EFL) を区別することだ。

この分類では、ENLは人口の大多数にとって、英語が最も重要な言語である国で話されている。オーストラリア、カナダ、ニュージーランド、イギリス、そしてアメリカは英語が母語として話され使われている国々だ。

それとは対照的に、ESLは英語が重要であり普通は公用語であるが、その国の主要な言語ではない国で話されている。こういった国々は概してイギリスやアメリカの元植民地である。ナイジェリア、インド、マレーシア、そしてフィリピンが、英語が第二言語として話され使われていると言われている国々の例だ。

このモデルの最後の分類は、EFLだ。EFLは英語が日常生活では普通、実際にはあまり使われも話されもしない国で見られる。こういった国々では、英語は典型的には学校で学ばれるが、学生たちは教室の外では英語を使う機会はほとんどない。したがって、英語を学ぶ動機がほとんどない。中国、インドネシア、日本、そして多くの中東の国々で、英語がEFLとして機能していると言われている。

このENL/ESL/EFLの区別はある文脈においては役に立つ。たとえば、英語が組織的なあるいは公的な役割を果たしている国の方が、学生が教室の外で英語を聞くことが少なく、使う必要性も低い国より、英語を学ぶ動機がずっと強いということは疑いようがない。しかしながらこの分類には欠点がある。一つは、「母語」という用語が誤解を生みやすいということだ。ENLの国の話し手は母語話者とみなされているので、そこで使われている変種が、全ての人によって話されている標準的な変種だと感じてし

まう。すると人々は、ENLがESLやEFLといった変種よりも本質的に優れていると感じ、したがって、ESLやEFLの国々の人たちが従うべき良い英語のモデルを示していると感じてしまう。しかし実際には、多くの様々な英語の変種がENLの国々で話されている。皆が同じ「標準的なモデル」を話しているという考えは、単純に正しくない。第二に、ENLを「モデル」として使うという提案は、そんなモデルは、ESLの国々では適切ではないかもしれないという事実を無視している。そこではその土地の変種がより受け入れられるモデルで、その特定の変種の流暢な話者や熟練の使用者が数多くいる。

この分類の二つ目の欠点は、英語の広がりにはEFLの国に正確に分類できる国を見つけるのが比較的難しいということも意味している点だ。先に見るように、英語は中国や日本のようなEFLの国において、ますます重要な役割を担っている。ESLとEFLの区別は、都会と田舎の違いに当てはめた方がより妥当に思える。ESLやEFLの国の都会の住人は、田舎の住人よりも英語を使うずっと多くの機会や必要性を持っている。さらに、ESLという変種はかつてイギリスやアメリカの植民地だった国々で機能すると言われている。しかし、以下で見えていくように、このタイプの植民地がそのような国々での現在の英語の役割に影響を与えてきた。

[出典 World Englishes: Implications for International Communication and English Language Teaching by Andy Kirkpatrick, © Cambridge University Press 2007. Reproduced with permission of Cambridge University Press through PLSclear.]

※問題作成の都合上、一部原文を改変しています。

プレゼンテーションの草案：

## World Englishes

World Englishes とは？

いくつかの異なる英語の変種。  
これらの変種は言語学的にも社会的にも文化的にも異なっている。

World Englishes の種類

種類	説明
ENL	この種類は <b>41</b> で話される。
ESL	この種類は <b>42</b> で話される。
EFL	この種類は <b>43</b> で話される。

この分類の問題点

**44**

**45**

【語句・表現】

- ・prepare 「～を準備する」
- ・presentation 「プレゼンテーション」
- ・research 「調査」
- ・various kinds of ～ 「様々な種類の～」
- ・create 「～を作り出す」
- 〈第1段落〉
- ・common 「一般的な」
- ・especially 「特に」
- 〈第2段落〉
- ・primary 「最も重要な」
- ・majority 「大多数」
- 〈第3段落〉
- ・in contrast 「対照的に、それに対して」
- ・main 「主要な」
- ・typically 「概して、典型的に」
- ・ex-colony 「元植民地」
- 〈第4段落〉
- ・occur 「存在する、見られる」
- ・actually 「実際に」
- ・normal course 「自然の成り行き」
- ・daily 「日常の」
- ・opportunity 「機会」
- ・therefore 「したがって」
- ・the Middle East 「中東」
- ・operate 「機能する」
- 〈第5段落〉
- ・helpful 「役に立つ」
- ・certain 「ある、特定の」
- ・context 「文脈」
- ・doubt 「疑い」
- ・be likely to do 「～する可能性がある」
- ・far 「はるかに」
- ・institutional 「組織的な、公共機関の」
- ・be unlikely to do 「～する可能性が低い」

- ・shortcoming 「欠点」
- ・term 「専門用語」
- ・be open to ～ 「～の余地がある」
- ・misunderstanding 「誤解」
- ・describe A as B 「AをBとみなす」
- ・innately 「本質的に」
- ・be superior to ～ 「～より優れている」
- ・represent 「～を示す」
- ・follow 「～に従う」
- ・simply 「単純に」
- ・incorrect 「正しくない」
- ・suggestion 「提案」
- ・ignore 「～を無視する」
- ・inappropriate 「不適切な」
- ・local 「その土地の」
- ・acceptable 「受け入れられる」
- ・fluent 「流暢な」
- ・expert 「熟練の」
- ・particular 「特定の」
- 〈第6段落〉
- ・spread 「広がり」
- ・accurately 「正確に」
- ・increasing 「増大する」
- ・distinction 「区別」
- ・appear to do 「～するように思える」
- ・valid 「妥当な」
- ・apply A to B 「AをBに当てはめる」
- ・contrast 「差異、対照」
- ・countryside 「田舎」
- ・dweller 「住人」
- ・rural 「田舎の」
- ・counterpart 「対応するもの」
- ・furthermore 「さらに」
- ・below 「以下で」
- ・influence 「～に影響を与える」
- ・current 「現在の」
- 〈プレゼンテーションの草案〉
- ・linguistically 「言語学的に」
- ・socially 「社会的に」
- ・culturally 「文化的に」

# リーディング・第5回 解答と解説

問題番号(配点)	設問	解答番号	正解	配点	自採	己点	
第1問(13)	A	1	<b>1</b>	2	2		
		2	<b>2</b>	3	2		
	B	1	<b>3</b>	1	3		
		2	<b>4</b>	2	3		
		3	<b>5</b>	2	3		
	自己採点小計						
第2問(18)	A	1	<b>6</b>	1	2		
		2	<b>7</b>	3	2		
		3	<b>8</b>	4	2		
		4	<b>9</b>	4	2		
	B	1	<b>10</b>	1	2		
		2	<b>11</b>	4	2		
		3	<b>12</b>	4	2		
		4	<b>13</b>	4	2		
		5	<b>14</b>	3	2		
		自己採点小計					
第3問(15)	A	1	<b>15</b>	3	3		
		2	<b>16</b>	1	3		
	B	1	<b>17</b>	3	3*1		
			<b>18</b>	2			
			<b>19</b>	4			
		2	<b>20</b>	1			
			<b>21</b>	1	3		
			<b>22</b>	3	3		
	自己採点小計						

問題番号(配点)	設問	解答番号	正解	配点	自採	己点
第4問(15)		1	<b>23</b>	4	3	
		2	<b>24</b>	4	3	
		3	<b>25</b>	3	3	
		4	<b>26</b>	3	3	
		5	<b>27</b>	1	3	
自己採点小計						
第5問(15)		1	<b>28</b>	3	3	
		2	<b>29</b>	4	3	
		3	<b>30</b>	4	3	
	4	<b>31</b>	1	3*1		
		<b>32</b>	3			
		<b>33</b>	2			
		<b>34</b>	4			
5	<b>35</b>	2	3			
自己採点小計						
第6問(24)	A	1	<b>36</b>	4	3	
		2	<b>37</b>	4	3	
		3	<b>38</b>	1	3	
		4	<b>39</b>	3	3	
	B	1	<b>40</b>	3	3	
		2	<b>41</b>	1	3	
		3	<b>42</b>	3	3	
		4	<b>43</b>	4	3	
自己採点小計						

自己採点合計

(注)

\*1は、全部正解の場合のみ点を与える。

